



回覧

「災害に備えて」～ 町会長連合有秋地区との共催事業

多発する災害に備えて地域の結束力を高めました

令和3年6月20日(日)有秋地区町会長と有秋公民館の共催事業による講座「災害に備えて」を市危機管理課から講師を招き有秋公民館体育室で開催しました。



講師は危機管理課防災担当の石本龍一主幹

この講座では、近年、多発する災害に備えて小学校区単位で策定を予定している地区防災計画への取り組み方やコロナ禍に対応した早期開設避難所の対応方法等の講演を行いました。

有秋地区27町会、及び3小学校などから74名が参加し、参加者は、「共助力」で被害を最小限に食い止めるため、地域の危険個所の把握や市の対処方法等様々な情報を学び、「地域力」「防災力」の高揚を図りました。

参加者の皆様ご苦労様でした。



災害時用かまど作りは館長(右)、事務員(中央)、夜間管理人(左)の手作り



講座ご紹介

有秋公民館主催の講座をご紹介します。年間の講座と日程は「生涯学習ガイドブック」「ホームページ」または有秋公民館窓口配布のものをご覧ください。ご興味のあるものが見つかりましたら、お問い合わせください。



フラワーアレンジ〈母の日〉
5月8日(土)



「子どもがお母さんに贈る花を自分で作る」母の日のフラワーアレンジメントを開催しました。講師は「フラワーアレンジメント体験サービス」を主宰する宮田伸弘さん。生産者から直接仕入れた花は、新鮮で色数も豊富。今回用意された花は、カーネーションとキク。赤、ピンク、オレンジ、黄色のカーネーションを使った「プードル」のアレンジメントは、それぞれがかわいらしく輝いていました。

ガーデンプラン(全2回)
5月18日(火)・6月1日(火)



「美しい庭づくり」を目指して、1回目は公民館で自分の庭を方眼紙に描き写したり、国内外の美しい庭の写真を見る座学、2回目は、上総更科公園で庭園づくりの現地学習。講師は上総更科公園緑の相談員の本田恵子さん。遊歩道をゆっくりと歩きながら、「モンゴルは人より家畜の数が多けれど、ハーブが一面に生えていて歩くとき爽やかな香りがします」とハーブや草木の話をしてくださいました。

親子陶芸教室(全3回)
7月10・31日・8月21日各(土)



子どもの成長とともに、或いは忙しさから親子で話す時間や同じ物事に打ち込む時間、機会も少なくなっていますか？親子のコミュニケーションはそれぞれですが、親子で一つのことに取り組み、互いを認め合ったり、良さに気づく一つの機会として「親子陶芸教室」を開催します。講師は陶芸家でサークル「陶友会」講師の市川清吉さん。この機会に親子で陶芸に触れてみては如何でしょうか？

世界の食卓
11月7日(日) *10月5日～受付



グローバル化といわれて久しいですが、諸外国の様子を知るには現地を訪れるのが一番。しかし、コロナ禍外国を訪れるのも難しい状況があります。

そこで、市原市の国際交流協会との共催で、食を入り口として異文化を学ぶ「世界の食卓」を開催します。外国人講師と調理実習を通して、その国の文化、習慣、歴史などをクイズ形式で学びます。今年度はペルーを予定しています。

有秋公民館主催事業のご案内

※主催 申し込みは各月5日 8:30 から
電話または窓口で受付開始します
(シリーズのものは、すべての日程にご参加
いただける方が対象となります)

7月募集の主催事業

【写真は令和元年、2年の様子です】

・感想文を書こう (3回シリーズ) 【課題図書に限る】

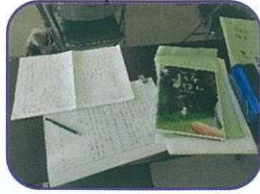
【開催】7/26(月)・29(木)、8/3(火)

【時間】9:30～11:30

【内容】読書の楽しさを味わって
感想文を仕上げる

【募集】小学4年～6年 12名

【費用】無料



・よるの昆虫観察

【開催】7/30(金)(雨天時7/31)

【時間】18:45～20:30

【内容】セミの羽化など、地域に棲む
昆虫の夜の活動を観察する

【募集】小学生と保護者 30名

【費用】無料



・親子パン作り教室

【開催】8/22(日)

【時間】9:00～13:00

【内容】親子でパン作りに挑戦!!
自分で作って味わう

【募集】小学生と保護者 8組

【費用】I組 800円



・パソコン教室 (3回シリーズ) …有秋中学校(会場)

【開催】8/24・25・26(火・水・木)

【時間】13:30～15:30

【内容】最新のExcel 活用方法など
(初心者向け)

【募集】16名

【費用】100円



8月募集の主催事業

・おとなの古典 (3回シリーズ)

【開催】9/3・10・17(毎回金)

【時間】10:00～11:30

【内容】古事記を読み解き時代背景や
当時の人々の思考や感情に触れる

【募集】20名

【費用】無料



・エアロビクス (4回シリーズ)

【開催】9/7・14・21・28(毎回火)

【時間】18:00～19:30

【内容】音楽に合わせて酸素運動

【募集】成人女性 10名

【費用】無料



・柿渋染でバック作り (4回シリーズ)

【開催】9/9・16・30、10/14(毎回木)

【時間】9:30～11:30

【内容】柿渋染の古布でバックを作る

【募集】10名

【費用】3000円

※参考作品



・親子社会見学会…バス研修

【開催】9/18(土)

【時間】9:00～16:30

【内容】親子で社会科見学

【募集】小学生と保護者 30名

(幼児は不可)

【費用】バス研修実費



9月募集の主催事業

・ベビーマッサージⅡ (3回シリーズ) 9ヶ月～1歳6ヶ月

【開催】9/28、10/26、11/9(毎回火)

【時間】10:00～11:30

【内容】マッサージで親子の触れ合い

【募集】母子 5組

【費用】1組500円



・ストレッチ体操〈秋〉 (5回シリーズ)

【開催】9/29、10/6・13・20・27(毎回水)

【時間】13:30～15:30

【内容】筋肉と関節の伸張運動を通し
て健康増進を図る

【募集】30名

【費用】無料



・市原の郷土料理

【開催】10/3(日)

【時間】13:00～16:00

【内容】地域の食材を生かした
伝統料理

【募集】12名

【費用】1500円



・さき織り (2回シリーズ)

【開催】10/4(月)・5(火)

【時間】9:30～15:30

【内容】古布を使って作品を織る

【募集】10名

【費用】1000円



『こんにちは。図書室です♪』

いつも有秋公民館図書室をご利用くださりありがとうございます。
この春の子ども読書週間のイベントではご来場いただきありがとうございました。
楽しんでいただけましたでしょうか？

《小中学生の皆さま・保護者の皆さまへ》

課題図書は例年通り7/1(木)～8/29(日)の期間、貸出・予約に制限があります。
図書室もしくは中央図書館のホームページにてご確認ください。

おすすめ本の紹介、第2弾です。



「赤ちゃんってどうやってできるの？」に
きちんと答える親になる！

のじまなみ・監修／ふじいまさこ・マンガ／日本図書センター・出版社

性教育アドバイザーののじまなみさん監修の本著は、マンガでわかりやすく、
性教育について子どもとどう向き合うべきかが一冊にギュッとつまっています。

声掛け事案の被害者は8割が小中学生。被害者の男女差はほとんどありません。
自分を守る知識をつけてもらうためにも、魔法の言葉「いい質問だね！」で
性教育してみませんか？

他の著書もおススメです。

- ・『お母さん!学校では防犯もSEXも避妊も教えてくれませんかよ!』辰巳出版
- ・『男子は、みんな宇宙人! 世界一わかりやすい男の子の性教育』日本能率協会マネジメントセンター (文責:T)

共催事業

有秋地区社会福祉協議会 【7月～9月】

・子育て会…第3木曜日

【開催】7/15、9/16

【時間】10:30～12:00

【対象】乳幼児と保護者
(0歳～3歳)



※ 新型コロナウイルス感染症のため変更中止等もあります。

・茶話会&ふれあい会食会
健康体操

【開催】7/1、9/2(木)

【時間】10:00～11:00

※ 65歳以上が対象です

★ 問い合わせ先: 社会福祉協議会
アネッサ ☎(62)-8601 富樫



サークル紹介

--*-*-*

有秋空手教室



高橋 力先生、飯島 崇先生の指導の下
黒帯取得や全国大会出場を目標に、年
長さんから大人まで
有秋公民館体育室
で、「心技体」を鍛え、
強くたくましく成長し
ています。

会員の中には毎年全国大会に出場したり、
県大会組手優勝や入賞者が多数在籍しています。

毎週水曜日19時から21時まで30名近く稽古しています。
興味のある方は是非見学体験してみたいはかがですか(^_^)

♥ 問い合わせは有秋公民館まで



おはなし会

【受付は10分前からです】

【開催】7/10、9/11(毎回土)

【場所】視聴覚室(直接会場へ)

【時間】10:00～10:30

【対象】1歳以上 20名

※「緊急事態宣言」等による人数制限あり



☆ セタコンサート開催のお知らせ ～マリンバの調べ～

・7月17(土)

開演: 18時30分

体育室(上履き持参)

♪ 演奏者

マリンバ 吉田 桐子

ピアノ 太田 亜希子 他

※来場の際はマスクの着用、手指の消毒、検温、名簿の記入をお願いします
※「緊急事態宣言」等による人数制限あり



シリーズ 有秋の里を歩く

— その9 疫病との闘い 前編 —

鎌倉街道を歩く会：鎗田 誠（右写真中央）



新型コロナによるパンデミックで揺れる世界。ちょうど100年ほど前の「スペイン風邪」（1918～1921）を想起させます。第一次世界大戦（1914～1918）が重なったため、その犠牲者数は現在も確定できず、数千万人にも及んだという見方まであります。日本でも感染者数2380万人、死亡者約39万人という数値が当時の内務省衛生局編『流行性感冒（＝現在のインフルエンザ）』に挙げられています。

日本では古くから天然痘の大流行が繰り返され、多くの犠牲者を出していました。最初の大流行は737年のもので遣唐使一行が持ち帰ったようです。九州から感染拡大が始まり、ついには西日本にも達してしまいます。都で権勢を誇っていた藤原四兄弟まで相次いで病魔に倒れました。その後も流行を繰り返した天然痘ですが、全国的な流行を見るのは江戸時代に入ってからでしょう。特に商工業の発達や巡礼ブームによって多くの民衆が遠路、移動するようになった江戸後期、天然痘も全国的な流行を繰り返すようになります。

とりわけ大都市江戸では人々が密集して生活していた事もあって「三密」など避けようもなく、幾度も疫病の流行を見えています。江戸との繋がりが深かった房総にも様々な疫病が訪れました。江戸で流行した疫病が市原にもたらされる主な経路としては五大力船、押し送り船などの海上輸送路を通じてのルート及び房州往還を軸とする脇街道を通じての陸上経路との二つが考えられるでしょう。

参考までに疱瘡神（痘瘡神とも）の代表的な祠の写真を挙げてみました。いまだに注連縄を張って丁寧な祀られている箇所もあります。明治になっても天然痘は猛威をふるっていました。関所などによる交通の制限が明治になって廃止された事で天然痘が一気に各地へ拡大する現象が見られるようになったようです。

久々津の「妙正大明神祠」は日蓮宗の寺院周辺（下総、上総、相

模、伊豆、駿河）に見られるもので基本的には「疱瘡神祠」と同じと考えられます。「石のカルテ」（川村純一 斎書房 1993）では船橋八千代、市川などに多く見られ、



妙正大明神祠：
久々津諏訪神社（1830）



疱瘡神祠：
菊間八幡（1771）

計51基確認されているようです。そのうち最古のものは富里の駒形神社にある宝暦元年（1751）のものといえます。同書では市原市内のものを2基確認していますが、鎗田は4基確認しており、まだまだ総数は増えていくと考えられます。なお「続房総の石仏百選」（2010）では県内60基余りとされています。また各地の「妙正大明神」の石祠は市川市妙正寺から勧請されたと考えられています。（後編へ続く）

有秋公民館指定管理者運営委員会からのお知らせ
令和3年度 指定管理者運営委員会の皆様です。

☆ 有秋公民館 指定管理者運営委員会

会 長	入島 久雄	会 計	矢城 達郎
副会長	宮本 民男	監 事	島崎 勝一
理 事	杉原 義一	監 事	越智 邦代
理 事	山本 知子	委 員	廣中 芳孝
理 事	大沼 一郎	委 員	齋藤 友樹
理 事	柴川 恭子	委 員	時田 静雄
理 事	星野 勝弘	委 員	秋山 絹子
会 計	藤田 富紀子	委 員	田島 玉枝

有秋公民館からのお知らせ

★ 10月予定の第40回有秋公民館祭は新型コロナウイルス感染症の状況により中止とさせていただきます。

★ 定期清掃（臨時休館日）7/18（日）となります。

※ 図書室よりお知らせ
7/30（金）・8/31（火）・9/30（木）図書整理日のため休室いたします。

★無料開放 体育室・・・毎月第4日曜日
午前9時～午後5時
【公民館行事等によって、変更もあります】